

教科	国語科	学年	3年	時間数	4 / 週
使用教科書	新しい国語3 (東京書籍)				
副教材	新・国語の便覧(正進社) 国語の学習3 (明治図書) 役立つ文法 (正進社) 学習漢字ノート(浜島書店) 入試漢字ドリル(正進社) 整理と対策(明治図書) 栃木県リハーサル 中学書写 (教育出版)				
学習の目標					
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p> <p>書写に関する次の事項を理解し使うこと。</p> <p>(ア) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。</p>					
評価基準					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。		言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	
評価の仕方	評価方法・基準 定期テストと、授業や学習課題への取り組みを中心に総合的に評価する。				

教科書	単元	各月における進度予定											
		1学期				2学期				3学期			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	「生命は」 吉野弘	●											
	「二つのアザミ」 堀江敏幸	●											
1 言葉 を 磨く	「俳句の読み方、味わい方」 片山由美子	●											
	俳句を作って句会を開こう	●											
	和語・漢語・外来語		●										
	他教科で学ぶ漢字(1)		●										
2 作品 を 論 じ る	「形」 菊池寛			●									
	「百科事典少女」 小川洋子			●									
	評価しながら聞こう			●									
	間違えやすい敬語			●									
	熟語の構成・熟字訓		●										
3 を 文 章 の 展 開 を 考 え る	「絶滅の意味」 中静透				●								
	編集して伝えよう						●						
	連語・慣用句								●				
	四字熟語				●								
	「恩返しのでんぐし」 坂本達								●				
4 多 面 的 に 検 討 す る	「幸福について」 野矢茂樹								●				
	観察・分析して論じよう									●			
	場面に応じて話そう										●		
	曖昧な文・分かりづらい文		●										
	送り仮名				●								
	「初恋」 島崎藤村				●								
5 伝 統 文 化 を 受 け 継 ぐ	万葉集		●										
	古今和歌集		●										
	新古今和歌集		●										
	おくのほそ道							●					
	論語									●			
	言葉の移り変わり										●		
	他教科で学ぶ漢字(2)									●			
6 を 読 む 関 係	「故郷」 魯迅									●			
	紛らわしい漢字									●			
	「何のために『働く』のか」 姜尚中										●		
7 思 い を 馳 せ る	「いつものように新聞が届いた」 今野俊宏										●		
	話し合いで意見をまとめよう											●	
	今の思いをまとめよう											●	
	文法のまとめ								●				
	間違えやすい言葉									●			
	「レモン哀歌」 高村光太郎									●			
	「生ましめんかな」 栗原貞子									●			
	「最後の一句」 森鷗外										●		
う め を 行 う よ う に 深 書	1 点画の変化と連続							●					
て な ま を 調 行 書 と 和 さ と 世 故	1 行書と仮名の調和								●				
	2 学習を生かして書く									●			
ま な ま を 二 三 年 間 の 学 習 の 成 果 を 生 か そ う	1 多様な表現による文字									●			
	2 三年間の学習の成果を生かそう										●		